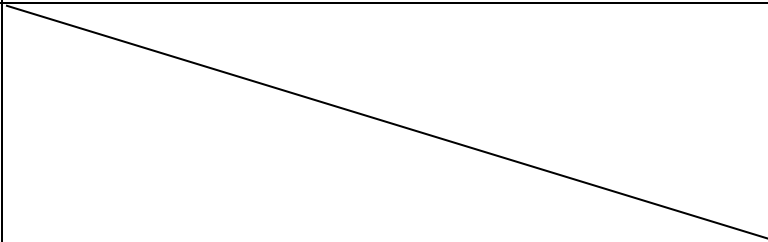


科目	国語表現
----	------

担当者名 横田 亜矢

教 科		国語	単位数	2	学科・学年	全学科 3 年
使用教科書		国語表現 改訂版 （大修館書店）			副教材等	国語表現（改訂版）基礎練習ノート
授業の概要	1 話すこと・聞くこと・書くことに重点を置きます。最終的にはレポート・小論文を作成する力を身に付けます。 2 就職や進学に向けた基礎学力の充実を図ります。				学習の目標	1 国語で適切かつ効果的に表現する力を身に付け、伝え合う力を高めます。 2 思考力や想像力を伸ばします。 3 言語感覚を磨き、進んで表現し、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を身に付けます。
	学 習 内 容				評価の観点・評価方法等（※学期ごとに下記の項目で評価します。）	
1 学期	1 書いて伝える 2 自己PRと面接 3 会話・議論・発表 ※同時に就職・進学試験対策として、問題集を用いた一般常識の学習、作文・履歴書の書き方の学習も行います。				関心・意欲・態度	【趣旨】 ・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語感覚を磨き、進んで表現することによって、国語の向上や社会生活の充実を図ろうとする。 【評価方法】 ・課題や小テストの取組状況や提出物の状況、授業態度で〔関心・意欲・態度〕を評価します。 【割合】 15%
	4 メディアを駆使する 5 声とコミュニケーション 6 小論文・レポート入門 ※同時に採用企業への礼状の書き方なども学習します。				話す・聞く能力	【趣旨】 ・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取り、自分の考えをまとめ、深めている。異なる考えを尊重し、課題解決のために話し合っている。 【評価方法】 ・発表の仕方や内容、聞く態度で〔話す・聞く能力〕を評価します。 【割合】 30%
書く能力					【趣旨】 ・相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を、内容が効果的に伝わるように工夫して書き、自分の考えをまとめ、深めている。 【評価方法】 ・感想文や報告文・意見文、プリントやノートなどの内容で〔書く能力〕を評価します。 【割合】 30%	
2 学期	7 表現を楽しむ				読む能力	
					知識・理解	
3 学期					その他	・上記を踏まえて定期考査を行います。また、学年の評価は1学期、2学期、3学期の評価を総合して行います。
課題提出物等		1 定期的にノートを提出します。 2 単元ごとに課題作品を提出（発表）します。 3 夏休みには、語彙・漢字の課題帳や、読書感想文を提出します。				
担当者より		1 授業は教科書を利用した一斉授業です。全員が授業を受けますが、二つの講座に分かれ、少人数で実施します。 2 授業中の課題への取り組み状況を重視します。クラス内での発表ならそれを聞く態度も重要です。小論文やレポートの作成・提出なども確実に行ってください。 3 普段から漢字学習には積極的に取り組み、漢字検定合格を目指しましょう。目標級は2級です。				

